

先進的な平和ミュージアム見学会に参加して

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会主催、先進的な平和ミュージアム見学会に参加しました。興味があったのは、滋賀県平和祈念館と蒸気機関車避難壕。

①滋賀県平和祈念館は5年前の平成24年3月に開館。昭和の時代から断続的に平和関連施設建設の意見が県議会に出されていたが、調査費が認められ基本構想を策定したのが平成3年とのこと。粘り強い活動の中心は滋賀県遺族会のような。

平和祈念館の職員は、社会科の教員が2名派遣されており丁寧に説明していただいた。学校への出前教室も行っているという。他に、戦争体験を聞き取り調査と資料収集する専門員2名、学芸員、事務員など計8名で運営されている。企画展示の他、きめ細かい平和学習を企画されている。

戦争が終わったのは、今から72年前「戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく」・・・スライドの言葉が、心に残る。

②米原市岩脇(いおぎ)町の蒸気機関車避

難壕。岩脇山に掘られた長さ130メートルのトンネル2本。戦争末期、米原駅の蒸気機関車を敵国の爆撃から守るために、主に朝鮮人労働者の手で掘られたという。約1年で貫通したが線路を敷設するまでに終戦を迎えたという。悲しいね。戦後は放置状態になりゴミ捨て場になっていたが、米原市教育委員会の要請を受け平成20年から「いおぎ町づくり委員会」の皆さんの手で整備され管理されているという。今日も、町民のボランティアの方から詳しく説明いただいた。

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会の皆さんの活動は地道ですが大事な活動です。鈴鹿には戦争遺跡がいっぱい残っています。保存し後世に伝える拠点となる施設が求められていると思います。



平和を祈願する慰霊大祭として斉行されました。

参加された遺族会の方々は、高齢化されるとともに、人数も年々減少しています。

二度と戦没者を出さないために、戦争の記憶を風化させないために、私たちにできることを考えていきたいものです。

鈴鹿市戦没者慰霊大祭

鈴鹿市遺族会主催・第72回鈴鹿市戦没者慰霊大祭が6月9日、鈴鹿市文化会館で斉行され、参加しました。神式で、市内神社の10名の宮司さんにより、慰霊と恒久

■ブログ記事を中心に編集しています。皆様のご意見・感想をお寄せ下さい。

■日々の活動は、HP、ブログ、facebookをご覧ください。

「はしづめ圭一」で検索して下さい。



メール HP ブログ



発行：鈴鹿市議会議員 橋詰 圭一【日本共産党】

No.9 2017年8月号

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1
電話・FAX 059-386-8561
携帯 090 6577 3617



ホームページ [はしづめ圭一] 検索



高齢者の生活交通 移動手段確保は焦眉の課題

6月議会一般質問で「高齢者の生活交通」について、4回目の一般質問を行いました。

一昨年12月議会の質問以降、福祉や街づくりの分野とも連携して、高齢者の移動手段の確保について検討していただいていることは大いに評価したいと思います。

一方で、現在ある公共交通網との関係や財源論については、さらに議論を深めていく必要があると感じました。

高齢化はものすごいスピードで進んでいます。今、生活の足に困っている人たちは、一刻も早い実現を願っている、スピード感をもって取り組んでいただきたい、との問いかけに、「高齢者の移動手段の維持、確保を図っていくことは、議員ご指摘のとおり焦眉の課題であると認識しています」

「新たな生活交通システムの検討については、本市の都市計画を進めていくにあっても、重要な要素となります」との答弁がありました。

質問の中で、市民団体「鈴鹿市民のコミバスをよくする会」の提案も紹介し、見解を求めました。今後、市民の皆さんの声をもっともっと集めて、行政と一体になって、新たな生活交通システムを創りだしていきたいと思っています。

皆様のご意見をお寄せ下さい。

質問の中で提起した論点や資料について、その一部を紹介します。

三重県玉城町 (人口約1万5千人)

電話で自宅近くに…「元気バス」概要

- 9人乗りワゴン車、3台を毎日運行(年末年始のみ運休)。午前9時～午後5時。
- 東京大学オンデマンド交通システムを利用。電話予約受付 30分前から2週間先まで
- 町民は誰でも無料(登録必要)
- 運行経費 年間約1,800万円 後期高齢者通院医療費年間1,100万円削減
- 運行主体 玉城町社会福祉協議会

■増え続ける高齢者医療費(鈴鹿市)

年度	2010年(H22)	2015年(H27)
歳入総額	22億5,272万円	29億7,150万円
一般会計繰入金	12億3,664万円	16億0,405万円
年度末登録人員	17,826人	20,790人

鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算より

歳入総額(毎年平均)1億4,376万円増
一般会計繰入金(毎年平均)7,349万円増
年度末登録人員(毎年平均)657人増

高齢者の外出促進

医療費削減

元気な町づくり

市民の幸福感と統一感アップ

多くの市民が利用できるシステムを地域ぐるみで

利用者負担、市税負担をなるべく安く

市民団体の提案概要・経費試算は「すずか民報」をご覧ください。より詳しくは、私のブログをご覧ください。

憲法改正で、「自衛」戦争というリアル

古賀茂明(元経産省官僚)さんの記事が、しんぶん赤旗「日曜版」6月4日号に載っていたのを、何度も読み返しました。

安倍首相は5月3日、憲法第9条に3項をつけ加え2020年の施行をめざす考えを表明しました。それがどういう意味を持つのか?国民の3分の2が賛成するのか?疑問や不安はいっぱいあるのですが、古賀さんの記事を読んで、超リアル、現実の問題としてとらえることができました。以下、冒頭部分を書き写しました。

☆☆☆☆☆

安倍首相の「9条改正」は単に自衛隊の現状を追認することとは本質的に異なります。例えば、9条に3項をもうけ自衛隊に関する条文を加える場合、2項が戦力不保

持を規定しているため、自衛隊を例外にする必要があります。考えられるのは「前項の規定にかかわらず、我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、国際法上認められた自衛権を行使する目的で自衛隊を保持する」という記述です。

一見、歯止めがかかっているようにみえますが、「国際法上認められる自衛権」と書き込んだ途端に、個別的自衛権だけでなく、集団的自衛権の行使も認められる、ということになります。どこの国も「自衛」以上のことをやる軍隊は想定していません。米国が中東でおこす戦争も「自衛」戦争です。自衛隊は「普通の軍隊」となり、戦力不保持と交戦権を否認した憲法9条2項は意味を失います。

高齢者の生活の足について 皆さんのご意見をお聞かせ下さい

市民の方からの葉書、6月議会質問で紹介しました。↓↓↓

高齢者の生活の足について 皆さんのご意見をお聞かせ下さい

「高齢化時代の生活交通を考えるシンポジウム」には110名の市民が参加しました。中日新聞記事↓↓

2017年(平成29年)4月26日(水曜日)

利用しやすいコミバスへ

高齢化社会の中、持続可能な交通システムをつくる機運を高めます。鈴鹿市の市民グループ「鈴鹿市民のコミバスをよくする会」は二十五日、シンポジウムを市文化会館で開いた。市内を走るコミュニティバス(Cバス)の利便性向上などについて市民ら百人以上が意見を述べた。(山本克也)

市民グループ 無料化を提案

交通ジャーナリストの鈴木文彦さんが講演した。和会長は現在のCバスのほかに、公共施設などが集まる市街地を循環するバスと周辺部を巡回するバスを設けた。多くの住民が同じ方向に立上ることが大切だと語った。

市都市計画課の伊藤保敬グループリーダーは、市内のバス十一路線のうち、黒字は一路線しかない点に触れながら、市民の移動手段を確保するため、全序的に取り組んでいる状況を説明した。

会場では、予約制の無料バスを運行している玉城町の事例紹介もあった。参加者からは、無料バスの創設に賛同する意見が目立ち、「バスを利用したくても、近くに停留所がない」といった声も聞かれた。

バス路線図をもとに、公共交通の現状を話す伊藤さん(左)と鈴鹿市文化会館で

鈴鹿の「公設民営」学童保育の誕生は1993年5月

鈴鹿市には全ての小学校に放課後児童クラブ(学童保育所)があり、多くの子どもたちが放課後を有意義に遊び学んでいます。運営形態はいくつか方式がありますが、一番多いのが、自治体(鈴鹿市)が設立し保護者が運営する「公設民営」です。

今ではどこの小学校区にも普通にある学童保育所ですが、その歴史はそれほど長くありません。鈴鹿市での公設民営の学童ができたのはまだ20数年前。

設立当時のことが解る資料などないかと探していたところ、設立に関わった方から「学童保育所ももたろう・10周年記念誌(2001年11月発行)」を見せていただくことが出来ました。A4サイズ75ページの立派な記念誌です。

1991年5月25日「学童保育をすすめる会」発足。代表11名選出。その後、学校長やPTAへの申し入れ。地域へのピラ配りなど行い、同年7月21日「桜島学童保育発足式」とあります。当初は、小学校内運動場での青空保育やテントの下での保育であったのが、保護者の皆さんの熱意が行政



を動かし、1993年5月、鈴鹿市公設民営第1号として桜島小学校のすぐ近くの土地に建物完成、とありました。当時の保護者の皆さんの熱意と苦勞がしのばれます。

現在、学童保育も全市に広がり、それぞれの地域で様々な問題もありますが、保護者の皆さんが力を合わせて解決して欲しいと思います。子どもたちが地域のなかで、たくましく成長して欲しいと思います。

玉垣のアジサイ*満開*

鈴鹿観光ガイドの「鈴鹿花だより」に、玉垣のアジサイ*満開*と出っていたので、スー



パーカブで行ってきました。(6/23)

近鉄柳駅周辺から見事なアジサイ道路が続きます。約300世帯の人たちが毎年植え続け、今では総延長2kmになっています。

